

問1 聖武天皇の時代を中心に栄えた天平文化の特徴について、その背景や内容を正しく説明しているものはどれですか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

- 遣唐使がもたらした唐の文化や、シルクロードを通じた西アジアなどの影響を受けた国際色豊かな文化である。
- 遣唐使の廃止に伴い、日本の風土や生活に合わせた、独自の国風文化が貴族の間で発達した。
- 力強い写実的な表現が特徴で、東大寺南大門の金剛力士像に代表されるような、武士の気風を反映した文化である。
- 江戸の町人を中心に広まった文化であり、浮世絵や見世物などが流行し、華やかな町人文化が形成された。

問2 律令国家の地方支配において、日本列島が多くの「国」に細かく区分されていた地理的状況を踏まえ、当時の行政運用の実態について述べた文を選びなさい。（2018年 奈良公立入試 類似）

- 中央政府からの命令を全国へ一貫して伝えるため、主要な道に駅を置き、国ごとに国府を設けて国司が実務にあたった。
- 各地方の境界線は明確ではなく、地域の有力者が地頭として独自の判断で境界を定めていた。
- 九州から東北まで、すべての地域に太政官の出張機関である八省の支局を置き、官僚が直接農作業を指導した。
- 国司は中央から派遣されるのではなく、その土地に古くから住む豪族が世襲でその地位を独占し続けた。

問3 飛鳥時代から奈良時代にかけて確立された律令制度のもと、中央政府から各諸国に派遣された地方官を何と呼びますか。なお、この役職は都の官吏が任命され、地方の有力豪族が任命される「郡司」を指揮する立場にありました。（2021年 静岡公立入試 類似）

- 国司
- 郡司
- 執権
- 防人

問4 奈良時代以降、人口の増加にともない口分田が不足し、班田収授法を維持することが困難になりました。これに対処するために出された、新しく開墾した土地の永年私有を認める法律を何といいますか。また、この法律が歴史に与えた影響について述べたものを選びなさい。（2018年 大阪公立入試 類似）

- 「墾田永年私財法」により、公地公民の原則が崩れ、貴族や寺院による荘園開発が進むきっかけとなった。
- 「三世一身の法」により、三代にわたる私有が認められたことで、口分田の返還が完全に行われなくなった。
- 「大宝律令」により、土地の売買が自由化され、農民が自らの土地を自由に処分できるようになった。
- 「新田開発令」により、すべての農民に新しい土地が平等に分配され、班田収授の仕組みが強化された。

問5 奈良時代、人口の増加によって公地公民の原則に基づく口分田が不足したため、政府は開墾を奨励しました。743年に出された、新しく開墾した土地を永久に自らのものにするのを認める法令の名称を答えなさい。（2019年 新潟県公立入試 類似）

- 墾田永年私財法
- 三世一身の法
- 班田収授の法
- 公地公民の制

問6 古代の租税制度について述べた次の説明のうち、全国各地から平城京に集められた「調」の説明として正しいものはどれか。（2021年 奈良公立入試 類似）

- 口分田の面積に応じて、収穫した稲の一部を地方の役所に納める。
- 都での労働の代わりとして、布を中央政府に納める。
- 九州北部の警備のために、防人として兵役につく。
- 各地の絹や魚といった特産品を、納税者が都まで運んで納める。

問7 710年に、唐の都である長安をモデルとして現在の奈良県に造られた、律令国家の政治の中心地となった都の名前を選びなさい。（2025年 福岡県公立入試 類似）

- 平城京
- 平安京
- 藤原京
- 難波京

問8 律令制のもとでは、政府が民衆を把握するために「戸籍」が作成され、それに基づき「口分田」が与えられました。この仕組みにおいて、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、地方の特産物を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税が課されました。これら二つの税の名称として正しい組み合わせを選んでください。（2025年 長野公立入試 類似）

- 調と庸
- 租と庸
- 防人と調
- 公事と夫役

答え合わせ・解説

問1	答え 1 遣唐使がもたらした唐の文化や、シルクロードを通じた西アジアなどの影響を受けた国際色豊かな文化である。	奈良時代の天平文化は、積極的な遣唐使の派遣によってもたらされた唐の高度な文化の影響を強く受けています。また、唐はシルクロードを通じて西アジアやインドとも交流があったため、当時の日本には遠くペルシャなどの文化も伝わりました。正倉院の宝物には、ササン朝ペルシャ風の文様が施された楽器やガラス製品などが残されており、この国際的な特徴を現代に伝えています。
問2	答え 1 中央政府からの命令を全国へ一貫して伝えるため、主要な道に駅を置き、国ごとに国府を設けて国司が実務にあたった。	律令国家は、細かく分けられた各国の拠点に「国府」を置き、中央から派遣された国司がそこで政務を行いました。中央の太政官からの命令を迅速に伝え、地方の情報を吸い上げるために交通網も整備されました。なお、国司の下で実務を支えた郡司には現地の豪族が任命されましたが、国司自体は中央から派遣される官吏であり、世襲ではありません。
問3	答え 1 国司	律令国家において、全国は「国・郡・里（郷）」という行政単位に区分されました。中央政府（朝廷）の支配を全国に及ぼすため、都から派遣された官吏が「国司」です。国司は任期制で、地方の有力豪族から選ばれ終身官であった「郡司」を監督しながら、戸籍の作成や租税の徴収、裁判などの地方統治を担いました。
問4	答え 1 「墾田永年私財法」により、公地公民の原則が崩れ、貴族や寺院による荘園開発が進むきっかけとなった。	当初は「公地公民」を原則としていましたが、人口増による土地不足を解消するため、743年に「墾田永年私財法」が制定されました。これにより、自分で新しく切り拓いた土地は永久に自分のものにできるようになったため、財力のある貴族や寺院が大規模な開墾を行い、「荘園」と呼ばれる私有地が拡大することとなりました。その結果、土地を国が管理して配分する口分田の仕組みは次第に機能しなくなっていきました。
問5	答え 1 墾田永年私財法	人口増加に伴う土地不足を解消するため、政府は723年に「三世一身の法」を出して三世にわたる私有を認めましたが、期限が近づく土地が荒廃するという問題が生じました。そこで743年にこの「墾田永年私財法」を制定し、開墾した土地を期限なく永久に私有財産にすることを認め、農地の拡大を図りました。
問6	答え 4 各地の絹や魚といった特産物を、納税者が都まで運んで納める。	律令制度下の「調」は、地方ごとの特産物を都に届ける義務を指します。都の役人の給与や儀式の費用、国家の資材として利用されました。選択肢にある「稲の一部を納める」のは租、「労役の代わりの布」は庸、「九州北部の警備」は防人をそれぞれ指しており、制度ごとに納める品目や場所、目的が明確に区分されていました。
問7	答え 1 平城京	奈良時代の始まりにあたる710年に、元明天皇によって遷都されました。唐の国際的な文化を取り入れるため、その首都である長安を模して碁盤の目のように区画された都市計画がなされました。この都を中心に、天皇を頂点とする律令政治が展開されました。
問8	答え 1 調と庸	律令国家の税制では、6歳以上の男女に与えられた口分田に対して課される「租」のほかに、成人男性の負担として、地方の特産物を納める「調」と、年間10日の都での労役（歳役）に代えて布を納める「庸」がありました。また、これら以外にも九州北部の警備にあたる「防人」などの兵役も課されていました。

問1 飛鳥時代から奈良時代にかけて整備された律令国家の税制のうち、収穫高そのものではなく「口分田の面積」を基準として課され、収穫した稲を地方の倉庫に貯蔵することが義務付けられていた税はどれですか。（2019年 静岡公立入試 類似）

1. 班田収授法によって与えられた土地に課される租
2. 都での労役の代わりに布を納める庸
3. 絹や糸、または地方の特産物を納める調
4. 地方の国司のもとで年間60日を限度に働く雑徭

問2 奈良時代、律令国家の体制が整う中で、中央政府が地方の実績や資源を把握するために各国に命じて作成させた、地域の自然、産物、伝説などを記録した報告書を何といいますか。（2017年 岐阜公立入試 類似）

1. 風土記
2. 日本書紀
3. 万葉集
4. 古事記

問3 律令制における税の仕組みについて、都での労役の代わりとして布を納める「庸」の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の約3%を地方の倉庫へ納める負担。
2. 都での労役の代わりに布を納め、主に都での役人の食糧や経費に充てられた負担。
3. 各地の絹や布、糸、海産物などの特産物を都まで運んで納める負担。
4. 国司の命令により、地方での土木工事などのために年間60日以内働く負担。

問4 日本の元号である「令和」の典拠となった『万葉集』について、元号の由来に関する歴史的な意義を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2020年 岡山公立入試 類似）

1. 日本の古典を典拠として、初めて日本の元号が選ばれた事例である。
2. 中国の歴史書を典拠とする、これまでの伝統的な慣習を重んじたものである。
3. 平安時代の貴族が執筆した随筆を、初めて元号の典拠に採用したものである。
4. 武士が政治の中心となった鎌倉時代の文学を、初めて典拠としたものである。

問5 7世紀から9世紀にかけて日本が唐へ派遣した使節について、その主な目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。

（2016年 山口公立入試 類似）

1. 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。
2. 唐の強力な軍事力を背景にして、蝦夷と呼ばれた東北地方の人々を武力で平定し、領土を拡大すること。
3. 朝鮮半島での利権をめぐる争いを有利に進めるため、唐と軍事同盟を結んで新羅を攻撃すること。
4. 国内の飢饉や疫病による混乱を鎮めるため、唐から大量の食料援助や医師の派遣を受けること。

問6 平城京跡からは、当時の税の仕組みを知る手がかりとなる「木簡」が多数出土しています。例えば、紀伊国（現在の和歌山県）から塩が納められたことを示す記述が見つっていますが、このような地方の特産品を納める税制度について、その特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. 収穫した稲の約3%を、各国に設置された倉庫に納める義務
2. 各地の特産品を、納税者自らが都まで運んで納める義務
3. 都で年間10日間働く代わりに、布を納める義務
4. 九州北部の防衛のために、3年間兵士として派遣される義務

問7 奈良時代の土地・税制度の変化について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。「人口の増加などにより（ ① ）が不足したため、政府は743年に（ ② ）を出し、自ら新しく開墾した土地の永代にわたる私有を認めた。」（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. ①口分田 ②墾田永年私財法
2. ①口分田 ②三世一身の法
3. ①検地 ②墾田永年私財法
4. ①荘園 ②大宝律令

問8 奈良時代に編纂された書物のうち、中央政府の正史としてまとめられた『日本書紀』や『古事記』と比較した際の、『風土記』の特徴として適切な説明はどれですか。（2023年 静岡公立入試 類似）

1. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。
2. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。
3. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。
4. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 班田収授法によって与えられた土地に課される租	律令制における「租」は、班田収授法によって支給された口分田に対して課されました。収穫した稲の3%程度を納めるもので、飢饉に備えるなどの目的で、主に地方（国衙）の倉庫に保管されました。一方で、特産物を納める「調」や、都に送られて政府の財源となる「庸」などは、民衆が都まで運ぶ負担が非常に重かったという特徴があります。
問2	答え 1 風土記	律令政府は地方を統治するにあたり、各国の地名の由来や土地の肥沃さ、産出される産物、さらには古くから伝わる伝承などを調査し、報告させる必要がありました。こうしてまとめられた地理書は「風土記」と呼ばれ、現在は出雲国（島根県）のものがほぼ完全な形で残っているほか、数力国の内容が今日に伝わっています。
問3	答え 2 都での労役の代わりに布を納め、主に都での役人の食糧や経費に充てられた負担。	庸は、成人男子が都へ行って年間10日間働く代わりに、布（2丈6尺）を納める制度です。この庸や、特産物を納める「調」は、負担者が自力で都まで運ばなければならず、農民にとって非常に重い負担となりました。選択肢にある稲を納めるものは「租」、地方での労役は「雑徭」に該当します。
問4	答え 1 日本の古典を典拠として、初めて日本の元号が選ばれた事例である。	日本の元号は、長らく中国の古典（漢籍）を典拠として選ばれるのが通例でしたが、2019年に制定された「令和」は、日本最古の歌集である『万葉集』を典拠として選ばれました。これは確認できる限り、日本の古典（国書）から元号が採用された初めての例として、文化的にも大きな話題となりました。
問5	答え 1 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。	遣唐使の最大の目的は、当時の世界で最も進んでいた唐の政治の仕組み（律令制度）や高度な仏教文化、学問などを直接学び、それを日本に取り入れることで、天皇中心の中央集権的な国家体制を確立することにあります。この派遣を通じて、日本は法制度や都市計画、文字や宗教など多岐にわたる分野で大きな影響を受けました。
問6	答え 2 各地の特産物を、納税者自らが都まで運んで納める義務	木簡は荷札として利用されており、そこには「調」として納められた特産品の内容や送り手の住所が記されていました。調は、地方の特産物を都の政府に納める義務ですが、運搬にかかる費用や食費もすべて納税者の自己負担であったため、農民の生活を圧迫する大きな要因となりました。
問7	答え 1 ①口分田 ②墾田永年私財法	班田収授法において、6歳以上の男女に与えられる土地を口分田と呼びますが、人口の増加に伴ってこの土地が不足しました。政府は当初、三世代に限り所有を認める「三世一身の法」を出しましたが、期限が来ると土地が返還されるため農民の意欲が上がらず、最終的に永久私有を認める「墾田永年私財法」へとつながりました。
問8	答え 1 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。	風土記は、中央から派遣された国司がその国の情報をとりまとめたものです。朝廷が各地域の資源や文化を把握しようとした目的が背景にあります。一方で、日本書紀や古事記は天皇中心の国家形成の正当性を説くための歴史書であり、記述の対象や目的が異なります。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 防人	663年の白村江の戦いで敗れた倭は、唐や新羅による報復や日本への侵攻を恐れ、大宰府などがある九州北部の沿岸部を防衛する必要に迫られました。そのため、水城や大野城を築くとともに、沿岸を警備する「防人」を配置して国防を強化しました。
問2	答え 3 墾田永年私財法	奈良時代、人口の増加によって農民に配る口分田が不足したため、政府は開墾を奨励するためにこの法令を出しました。それまでは「土地は国家のもの」とする公地公民の原則がありましたが、この法令によって土地の永久私有が認められるようになりました。723年に出された、三代に限り私有を認める「三世一身の法」と混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 租	律令国家では班田収授の法により、6歳以上の男女に口分田が与えられました。この土地の面積（段数）に応じて、収穫した稲の3%程度を納める税が「租」です。これに対し、地方の特産物を納めるのは「調」、都での労役の代わりに布を納めるのは「庸」と呼ばれます。
問4	答え 1 聖武天皇	奈良時代の中頃、社会的な混乱を仏教の力で鎮めようとしたのは聖武天皇です。天皇は全国に国分寺・国分尼寺を建てることを命じ、その中心（総国分寺）として東大寺を位置づけました。これは、仏教を国家の守りとする「鎮護国家」の思想を具体化したものです。
問5	答え 1 墾田永年私財法が公布された後、8世紀末に平安京へ遷都した	743年に出された墾田永年私財法は、公地公民の原則を崩し、貴族や寺社による大土地所有（初期荘園）のきっかけとなりました。この法令は奈良時代の出来事であり、その後の794年に、政治を立て直す目的などで山背国に平安京が造営されました。
問6	答え 1 シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。	正倉院の宝物には、ペルシャ（西アジア）風のデザインやガラス工芸品が含まれています。これらはシルクロードを通して唐に集まったものが、遣唐使などの往来によって日本まで伝えられたもので、当時の日本が国際的な交流網の東端に位置していたことを示しています。
問7	答え 1 唐の長安	平城京は、元明天皇の時代の710年に、それまでの藤原京から遷都して造営されました。この都は、当時、東アジアの政治・文化の中心として栄えていた唐の都である「長安」をモデルとして設計されており、碁盤の目のように区切られた整然とした街並みが特徴です。当時の日本は遣唐使を派遣し、大陸の進んだ制度や文化を積極的に取り入れていました。
問8	答え 1 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の歌が収録されている点	万葉集には、北九州の警備にあたった人々の心情を詠んだ「防人の歌」や、東日本の民衆の暮らしを詠んだ「東歌（あずまうた）」などが含まれています。このように名もなき人々の素朴で力強い感情が収められている点は、後の時代の貴族中心の勅撰和歌集には見られない、この時代特有の大きな特徴です。
問9	答え 1 仏教の力で国を護り、伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を鎮めようとした	奈良時代、日本では天然痘の流行や藤原広嗣の乱といった深刻な社会不安が続いていました。聖武天皇は、仏教の力によって国家の安定を祈る「鎮護国家」の思想を重視し、全国に寺院を設置することで体制を整えようとした。選択肢にある禅宗や一向一揆、浄土宗などは、いずれも鎌倉時代や室町時代といった後の時代の出来事に関連するものです。

問1 7世紀後半から九州の筑前国に置かれた大宰府は、その地理的条件からどのような役割を担っていた行政機関ですか。その主な任務について述べたものを選びなさい。（2017年 広島公立入試 類似）

1. 外国との交渉や九州の統治、および対外的な防衛の拠点としての役割
2. 東北地方の蝦夷（えみし）の帰順や土地の開墾を統括する役割
3. 鎌倉に幕府が開かれた後、朝廷の動きを監視し西国の裁判を行う役割
4. 江戸時代、西日本の諸大名の監視や長崎貿易の管理を担う役割

問2 古代日本の租税制度のうち、班田収授法との関わりが最も深い「租」の仕組みや特徴を説明したのとして、正しいものはどれですか。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。
2. 都での労役の代わりに、麻布などを都まで運んで納める負担。
3. 絹や布、糸といった各地の特産品を、都まで運んで納める負担。
4. 国司の命令により、土木工事などのために年間60日を限度として働く負担。

問3 663年の白村江の戦いで敗れた後、大和政権は大宰府を守るためにその周辺の防衛を強化しました。この時、大宰府の北側に築かれた、巨大な土塁と堀を持つ防衛施設を何と呼びますか。（2017年 広島公立入試 類似）

1. 水城（みずぎ）
2. 多賀城（たがじょう）
3. 鴻臚館（こうろかん）
4. 吉野ヶ里（よしのがり）

問4 奈良時代から平安時代にかけて、当時の中国の王朝が持つ優れた文化や政治制度、仏教などを日本へ導入することを目的に派遣された使節を何といいますか。また、この使節に同行して海を渡り、帰国時に茶の種子を日本へ持ち帰ったとされる人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 長野県公立入試 類似）

1. 遣唐使と最澄
2. 遣唐使と空海
3. 遣隋使と最澄
4. 遣隋使と小野妹子

問5 710年に都が平城京へと移されたあと、8世紀の日本（奈良時代）において行われた出来事として、歴史上の時系列が正しいものはどれですか。（2022年 高知公立入試 類似）

1. 卑弥呼が中国の魏に使いを送り、親魏倭王の称号を授かる
2. 中大兄皇子らが蘇我氏をたおし、大化の改新の詔を出す
3. 聖武天皇の命により、都に大仏を本尊とする東大寺が建立される
4. 藤原頼通によって、宇治に極楽浄土を象徴する平等院鳳凰堂が建てられる

問6 奈良時代の中頃、相次ぐ政変や疫病、飢饉による社会の不安を鎮めるため、仏教の力によって国家を安定させようとする「鎮護国家」の思想に基づき、東大寺に大仏を造るよう命じた人物は誰ですか。（2023年 鳥取公立入試 類似）

1. 聖武天皇
2. 天武天皇
3. 天智天皇
4. 推古天皇

問7 奈良時代には、天皇を中心とする律令国家の体制を整えるため、国家の成り立ちや正当性を示す歴史書の編纂が行われました。この時期にまとめられた、日本最古の歴史書とされる書物と、中国の歴史書の形式にならって編纂された正史の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 古事記・日本書紀
2. 古今和歌集・万葉集
3. 風土記・日本書紀
4. 日本書紀・解体新書

問8 班田収授法によって口分田を与えられた農民には、さまざまな税の負担が課せられました。このうち、口分田の収穫から約3パーセントの稲を納める義務を何と呼びますか。その名称と内容として適切なものを選びなさい。（2018年 大阪公立入試 類似）

1. 「租」と呼ばれ、地方の役所に納められて国や地方の備蓄となった。
2. 「調」と呼ばれ、地方の特産物を都まで運んで納める負担であった。
3. 「庸」と呼ばれ、都での労役の代わりに布を納める負担であった。
4. 「公出挙」と呼ばれ、国から稲を借りて利息をつけて返す制度であった。

問9 古代において、東アジアと西アジアやインドを結び、物資や文化の交流を可能にした交易路がある。東大寺正倉院に収められた宝物にも、この交易路を通じてもたらされた西方の影響が見られるが、この道の名称として最も適切なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 東海道
2. シルクロード（絹の道）
3. 中山道
4. コロンブスの航路

答え合わせ・解説

問1	答え 1 外国との交渉や九州の統治、および対外的な防衛の拠点としての役割	大宰府は「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、大陸に近い九州北部の要衝に置かれました。唐や新羅といった外国からの使節を応接する外交の窓口としての機能と、外国の侵攻に備える防衛の拠点、さらには九州全体の統治という重要な任務を併せ持っていました。東北の蝦夷に対するのは鎮守府、朝廷の監視は六波羅探題などが担った役割であり、これらと混同しないことが重要です。
問2	答え 1 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。	「租」は班田収授の制と密接に結びついており、政府から与えられた口分田という土地を課税対象としていました。これに対し、「調」は地方の特産物、「庸」は都での労役（歳役）の代わりに布、「雑徭」は地方での労働を指し、これらは土地ではなく人（成人男性）を主な対象として課された税であるという違いがあります。
問3	答え 1 水城（みずき）	白村江の戦いで敗北後、唐・新羅連合軍の侵攻を恐れた朝廷は、九州の防衛を急ぎました。外交・行政の中心地である大宰府を守るため、その北側に「水城」という大規模な堤防（土塁と堀）を築き、さらに周囲の山々には大野城などの朝鮮式山城を建設して、防衛体制を整えました。多賀城は東北地方の拠点であり、鴻臚館は外交使節の宿泊施設です。
問4	答え 1 遣唐使と最澄	遣唐使は、唐の律令制度や仏教文化を直接学ぶために日本から派遣された公式の使節です。天台宗を開いた僧の最澄は、804年にこの使節の一員として唐に渡りました。最澄は仏教の教えだけでなく、茶の種子を日本に持ち帰り、それが日本の喫茶文化の始まりの一つになったという伝承が残されています。遣唐使は唐の前の王朝である隋に送られたものです。
問5	答え 3 聖武天皇の命により、都に大仏を本尊とする東大寺が建立される	平城京に都がおかれていた時代を奈良時代と呼びます。この時代には聖武天皇が、仏教の力で国を治めようとする鎮護国家の思想に基づき、各地に国分寺を、都に総国分寺としての東大寺を建立しました。卑弥呼の遣使は3世紀（弥生時代）、蘇我氏の打倒は7世紀（飛鳥時代）、平等院鳳凰堂の建立は11世紀（平安時代）の出来事であり、時期が異なります。
問6	答え 1 聖武天皇	奈良時代、相次ぐ災いや混乱を収めるために、仏教を重んじる政治が行われました。聖武天皇は全国に国分寺・国分尼寺を建てることを命じるとともに、その総本山的な役割を持つ東大寺に、国の平安を願って大仏を造立しました。
問7	答え 1 古事記・日本書紀	奈良時代には、天皇による統治の由来を神話の時代からさかのぼって記録し、国内外に国家の正当性を示すための事業が行われました。その結果、712年に『古事記』が、720年に『日本書紀』が完成しました。『古今和歌集』は平安時代に編纂された勅撰和歌集であり、時代が異なります。
問8	答え 1 「租」と呼ばれ、地方の役所に納められて国や地方の備蓄となった。	口分田の面積に応じて課せられた税が「租」です。これは収穫した稲の約3%という比較的軽い負担であり、地方にある「正倉」という倉庫に納められ、地方政治の財源や飢饉に備えた備蓄として利用されました。これに対し、都まで運ぶ必要があった「調」や「庸」は農民にとって非常に重い負担となっていました。
問9	答え 2 シルクロード（絹の道）	奈良時代の天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受けているが、当時の唐は西アジアやインドなどとの交流が盛んであった。この東西交流を支えた内陸の交易路は、中国の特産品である絹が多く運ばれたことから「シルクロード（絹の道）」と呼ばれる。正倉院には、この道を経て伝わったガラス容器や楽器などが収蔵されており、国際色豊かな特徴を示している。「東海道」は江戸時代に整備された日本の五街道の一つであり、時代や場所が異なる。

問1 奈良時代に行われていた、土地を人々に配り、その人が亡くなると国に返還させる仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2017年 岡山公立入試 類似）

1. この仕組みは班田収授法と呼ばれ、口分田を貸し与えるために6年ごとに戸籍が作られた。
2. この仕組みは墾田永年私財法と呼ばれ、新しく開墾した土地を永久に私有することが認められた。
3. この仕組みは公地公民と呼ばれ、武士が農民から年貢を取り立てる権利を国家が保証した。
4. この仕組みは地租改正と呼ばれ、土地の価格に応じた現金を政府に納めることが義務付けられた。

問2 日本の仏教文化における彫刻作品について、製作された時期とその特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 福島公立入試 類似）

1. 奈良時代の天平文化において、興福寺の阿修羅像のように、写実的で繊細な表現の仏像が作られた。
2. 飛鳥文化において、東大寺南大門に安置されている金剛力士像のように、力強く筋肉質な仏像が作られた。
3. 平安時代の国風文化において、広隆寺にある弥勒菩薩像のように、指先を頬にあてて思索にふける姿の仏像が作られた。
4. 鎌倉文化において、平等院鳳凰堂に安置されている阿彌陀如来像のように、穏やかで優美な表現の仏像が作られた。

問3 墾田永年私財法が出されたあとの社会の変化について、最も適切な説明はどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 貴族や寺院が周辺の農民や浮浪した人々を使って大規模な開墾を進め、私有地である荘園を形成した。
2. 商業を営む商人が同業者組織である座を結成し、幕府から独占販売の権限を得るようになった。
3. 有力な農民たちが株仲間の結成を認められ、問屋制家内工業を発展させた。
4. 武士の領地が細分化されるのを防ぐため、長男のみが土地を継承する単独相続が一般的になった。

問4 弥生時代から奈良時代にかけての歴史的推移をまとめた資料において、金印の授受、渡来人の活動、貨幣の鑄造に関する記述の組み合わせとして、歴史的事実に基づいているものはどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 金印によって中国との外交を行い、後に渡来人から漢字や儒教などの文化が伝えられ、律令国家の形成期に富本銭や和同開珎が作られた。
2. 金印が授けられる前に富本銭が作られており、それらの貿易を支えるために渡来人が仏教を日本へ持ち込んだ。
3. 和同開珎が鑄造された後に、その技術を学んだ倭の王が中国へ渡り、漢の皇帝から金印を授けられた。
4. 渡来人がもたらしたインダス文字が金印に刻まれており、その文字を広く普及させるために富本銭や和同開珎などの貨幣が発行された。

問5 律令制度下の土地の仕組みにおいて、6歳以上の男女に与えられ、死後には政府へ返却することが定められていた土地を「口分田」と呼びます。この口分田の運用実態に関する説明として正しいものはどれですか。（2018年 香川公立入試 類似）

1. 売買や譲渡が自由に行える、個人の完全な私有地であった。
2. 本人が死亡した後も、子孫が代々耕作権を引き継ぐことが認められた。
3. 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。
4. 新しく開墾した者が、永久に自分の土地にできる制度に基づいた土地であった。

問6 奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集について、その特徴を説明した文として正しいものを選びなさい。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。
2. 清少納言によって書かれた、宮中の様子や四季の情景を綴った随筆である。
3. 紀貫之らによって編集された、最初の勅撰和歌集である。
4. 鎌倉時代に兼好法師によって書かれた、仏教的な無常観を背景とした随筆である。

問7 聖武天皇の時代に、当初は政府から弾圧されていた僧侶の行基が、後に高い位を与えられて大仏の造立に協力することになった理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 佐賀公立入試 類似）

1. 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから
2. 遣唐使として唐に渡り、最新の建築技術や土木技術を日本に初めて持ち帰った功績が認められたから
3. 地方の国府や国分寺の周辺で発生した反乱を、仏教の教えを用いて鎮圧することに成功したから
4. 鎌倉時代に新仏教を興した開祖たちと同様に、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈願したから

答え合わせ・解説

問1	答え 1 この仕組みは班田収授法と呼ばれ、口分田を貸し与えるために6年ごとに戸籍が作られた。	律令国家では「班田収授法」に基づき、6歳以上の男女に口分田が与えられました。公平に土地を配分・回収するため、6年ごとに現状を把握するための戸籍が作成されました。選択肢にある墾田永年私財法は、後に土地の私有化を認めた法律であり、班田収授法の原則とは対照的なものです。
問2	答え 1 奈良時代の天平文化において、興福寺の阿修羅像のように、写実的で繊細な表現の仏像が作られた。	天平文化は国際色豊かで写実的な表現が特徴であり、興福寺の阿修羅像はその代表例です。他の選択肢については、東大寺の金剛力士像は鎌倉時代の彫刻、広隆寺の弥勒菩薩像は飛鳥時代の彫刻、平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像は平安時代（国風文化）の彫刻であり、それぞれの時代の文化背景に基づいた特徴を持っています。
問3	答え 1 貴族や寺院が周辺の農民や浮浪した人々を使って大規模な開墾を進め、私有地である荘園を形成した。	この法令により土地の永久私有が認められたことで、財力のある貴族や大寺院は積極的に土地を開墾し、自らの私有地（初期荘園）を拡大させていきました。これにより、律令制の基本である「公地公民」の原則が実質的に崩壊し、中世の荘園公領制へとつながる大きな転換点となりました。
問4	答え 1 金印によって中国との外交を行い、後に渡来人から漢字や儒教などの文化が伝えられ、律令国家の形成期に富本銭や和同開珎が作られた。	日本の古代史は、1世紀の金印授受（中国との外交）から始まり、5世紀前後の古墳時代に渡来人が大陸の技術や文化（漢字・儒教・須恵器など）を伝え、7世紀後半から8世紀にかけて律令国家としての体制を整える一環として、富本銭や和同開珎といった貨幣が鑄造されるという流れを辿ります。金印に刻まれているのは漢字であり、インダス文字ではありません。
問5	答え 3 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。	律令制度における口分田は、国家から一時的に貸し与えられた土地という性質を持っていました。政府は正確な人数や年齢を把握するために6年ごとに「戸籍」を作成し、それをもとに公平に配分し直す班田収授を行いました。後に認められる「墾田永年私財法」のような土地の私有化とは異なり、個人の売買や世襲は原則として禁じられていた点が特徴です。
問6	答え 1 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。	万葉集は奈良時代末期に成立したとされる日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収録されており、その作者が天皇や貴族といった有力者だけでなく、九州の警備に当たった防人（さきもり）や東国の人々（東歌）など、身分を問わず多岐にわたっている点が大きな特徴です。当時の人々の素朴な感情や生活が直接的に表現されています。
問7	答え 1 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから	聖武天皇は仏教の力で国を安定させようと大仏の造立を計画しましたが、それには膨大な労働力と寄付（資金）が必要でした。政府は、かつては弾圧していたものの、民衆から絶大な支持を受け、橋やため池の建設を指揮していた行基の協力なしには、この国家的な大事業を完遂できないと判断して彼を重用しました。